

平成21年度 第3回北海道農政事務所入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成21年11月17日(火) 北海道農政事務所5階会議室	
委員	阿座上 洋吉(経済研究所代表)、奈良 顕子(設計会社代表)、 山林 弘(建設保証会社参事) <五十音順>	
審議対象期間	平成21年7月1日 ~ 平成21年9月30日	
抽出案件	4件 (総件数5件 内訳:公共工事等3件、物品役務等2件)	
【公共工事等】 一般競争	3件	<ul style="list-style-type: none"> 北海道農政事務所地域第四課庁舎解体工事ほか解体工事設計及び積算業務 北海道農政事務所地域第三課庁舎暖房設備改修工事 北海道農政事務所函館宿舎内壁除菌・防カビ改修工事
【物品役務等】 一般競争	1件	<ul style="list-style-type: none"> 貨客兼用小型自動車(四輪駆動)交換購入
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	質問・意見	回答
	別紙のとおり	
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	・ なし	

質問・意見	回答
<p>【入札・契約手続の運用状況等に関する報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札・契約手続の状況 ・指名停止等の措置状況 <p>【抽出事案の審議】</p> <p>1. 北海道農政事務所地域第四課庁舎解体工事ほか解体工事設計及び積算業務</p> <p>○低落札になっているが、入札価格の下限の設定などはないのか。</p> <p>2. 北海道農政事務所地域第三課庁舎暖房設備改修工事</p> <p>○こういった工事の場合、改修設備資材と役務と両方が参加要件に入っているが、資材の構成比はどの位になるものなのか。</p> <p>○予定価格の機械分（定価なのか何掛けなのか）で、この落札率になったのではないか。 定価よりかなり安く業者が納入できたと考えれば結果としては低入札でもないのではないか。</p> <p>○予定価格をもう少し下げてはどうか。</p> <p>○競争が二重に重なってくる。低落札だが、下げたのが施工業者の施工分なのかメーカーの物品なのか問題。 予定価格の設定の仕方が難しいが予定価格とあまりに格差が出るのも問題。もう少し慎重に設定した方がよいのではないか。</p> <p>3. 北海道農政事務所函館宿舎内壁除菌・防カビ改修工事</p> <p>○この1回目の契約で問題などはなかったのか。また、前払い金などはなかったのか。</p>	<p>(質問・意見なし)</p> <p>●下限はなく、安いところで決まる。</p> <p>●落札価格230万のうち暖房機本体代153万7000円、その他消耗品で若干。</p> <p>●予定価格はメーカーから定価を確認し、概ね90%の価格で積算した。そこが甘かったのだと思う。</p> <p>●工事に手をつけていないため問題なかった。契約後ではあるが前払い金対象の工事ではない。契約書は取り交わしている。</p>

○2回目の入札については別で行ったのか。

○これは、古いアパートなのか。

○カビの原因は断熱不足が主だが断熱材等は入れなかったのか。

○工事3件は、全体的に予定価格に対して低入札。予定価格は市場価格を狙ったものなので、本来はそれほど開いてはいけないはず。予定価格の基準は実態価格の平均値から来ているはずなので、その額に近い・超えたからおかしいという考え方はなく、この低落札こそ本来おかしいという風に思わなくてははいけない。

「予定価格」という言葉を使っているが、「予算価格」という捉え方になっているので気になっている。

4. 貨客兼用小型自動車（四輪駆動）交換購入

○2回目の入札についてはA社は入らなかったのか。

○2回目の入札でA社にかわりB社が入っている。価格が他とはかなり違うが車の状態等が違うのか。

●10月に行ったため今回の期間内の工事ではない。現在、工事实施中。（関係資料は次回へ）

●昭和56年、57年築で、27～28年経っている宿舎。

●天井には断熱材を入れている。他の箇所についても当初は検討したが、ボード材の取り替えを優先し、断熱材を入れるまでは出来なかった。

●A社については、入札前に証明書の提出はあったが提出期限までに事前入札書の提出がなかったため2回目の入札には参加していない。

●当所としては、仕様を満たされればよい。価格の差については、設定が違うとしか言いようがない。B社の自動車だが、他と比較して装備等に差があるとは思えない。燃費で見ると、B社はよい。